

上山市三本松
山口 大さん

令和4年度事業計画に対する意見(書面による意見集約)

特集 繋がりを大切に 女性部作品展

旬の料理 栄養ギュウギュウ! 白宝菜



JAやまがた
公式
Facebook

旬の

お手軽

Cooking

栄養ギュウギュウ! 白宝菜

八宝菜をヒントにしました。牛乳を使い、小松菜のカルシウム吸収率をアップさせています。



材料 (4人分)

キャベツ 4~5枚
小松菜 1株
人参 1/3本
生しいたけ 4枚
牛肉(こま切れ) 100g
油 小さじ1
うずらのゆで卵 4個
酒 大さじ2
中華スープ(粉末) 大さじ1~2
水 100cc
牛乳 150cc
水溶き片栗粉
(片栗粉大さじ1+水大さじ2)
塩、こしょう お好みで調整

1



①人参を2ミリの輪切りにし、花型で抜く。鍋に型抜きした人参を入れ、水から茹でる。残った人参は、粗みじんにする。

2



②キャベツは3cm角に、しいたけは石づきを取って半分に、小松菜は長さ3cmに切る。

3



③フライパンに油を敷き、牛肉を炒める。色が変わったらいったん取り出す。

4



④同じフライパンで、粗みじんの人参、キャベツ、小松菜、しいたけの順で炒め、③の牛肉も入れる。調味料④を入れてひと煮立ちさせたら、水溶き片栗粉でとろみをつけ、皿に盛り、①の花型人参とうずらの卵を飾る。

料理のワンポイントアドバイス

どんな野菜を使っても作ることができますが、淡色野菜ばかりだと白っぽい仕上がりになってしまうので、赤や黄、緑など色の濃い野菜を必ず加えましょう。ただし、火を通す順番には気を付けて!



山形学院高校 ご紹介

山形学院高校には、普通科、情報科、調理科3つの科があります。中でも、私達が学ぶ調理科では、調理師免許取得に向けて、毎日の調理実習や地域に発信する食育活動に力を入れています。

令和4年度事業計画に対する意見(書面による意見集約)

令和3年度の地区別座談会は新型コロナウイルス感染症の拡大を懸念し

支店ごとの対面による座談会の開催はやむを得ず中止としました。

2月中旬に組合員の皆様へ令和4年度事業計画(素案)の資料を配布し、

ご意見・ご質問を書面にて承りました。

後日、支店長を経由して回答させていただいた一部についてご紹介します。

●JAサービス全般へアクセスが可能なデジタルネットワーク化を早急に検討してほしい。また、HP(ホームページ)から各支店へアクセスが可能なリンクを早急に確立してほしい。組合員と支店間のメールシステム等のやり取りが必要であると感じる。

第8次中期経営刷新計画にもDX(デジタルトランスフォーメーション…情報技術活用革新)への対応による事務効率化に取り組み内容を提案しております。ペーパーレス化等を進めるにあたり、何をデジタル化出来るか、どういった方法で提供できるか検討を進め実行してまいります。直売所ではスマートフォンのLINEアプリを使った情報発信もしており、そういった通信用アプリを活用した方法も考えてまいります。支店のメールにつきましては、現在も支店専用のメールアドレスがございます。HPには問合せページがあり、代表メールに届くようになっておりますので、まずはそちらから問合せ頂ければ支店の方にお繋ぎいたします。今後はセキュリティ等も考慮しながらHPへの各支店メールアドレスの掲載につきましても検討していきます。

●人材確保とマネジメントについて、実施年度が最終年度になっているが、早急な取り組みが必要ではないか。

組合員・地域の皆様のさらなる満足度向上のため、主体的に自ら行動のできる職員教育を目的として、職員の意識改革が必要と考えております。それには、現在の評価制度や給与体系等の見直し等が必要であり、その検討には大変な時間を要すると認識しております。そのため、検討する時間を考慮し、最終年度と示させていただいております。

●令和4年度事業計画や第8次中期経営刷新計画素案を配布いただいたが、組合員が理解し易いように文章等の表現も配慮いただきたい。

資料等の作成に関しましては、特に新しい用語等には用語の説明等も付しながら対応してまいりましたが、更に配慮し改善出来るものに関しては改善してまいります。なお、この度の資料とともに「概要説明書・用語の説明」も配布しておりますので、参考までご覧下さるようお願い致します。

●昨年の米価の大幅下落、最近の燃料費の増大、さらに今回の手数料の値上げでますます農協離れが進むのではないか。手数料の値上げは延期した方がいいのではないか。

販売手数料については第7次刷新計画(令和元年～令和3年)で計画し、令和元年度の座談会では令和3年度から実施の説明をさせていただきましたが、令和2年度の豪雨による農産物の被害等を考慮し、実施年度を令和4年度からの実施へ変更させていただきました。新型コロナウイルス感染症の拡大や原油高騰等、厳しい状況ではありますが三元販売による有利販売や市場外流通の拡大など、所得向上に努めてまいりますので、販売手数料については令和4年3月1日より実施させていただきたく、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いします。

●収支決算書を作成してみると生産資材並びに出荷経費が非常に多く、実際の収入が予想以上に少なくなり赤字決算になる。令和4年度は原油価格の高騰などから全体的に資材等の値上げが予想されるが、JAの力で出来るだけ安く提供できるように。

●山形市より米価下落対策支援交付金事業の案内通知があった。10aあたり千円の支援では、農家にとって正直何もない状況。大規模農家にとつてこの支援では再生産が出来ず、田んぼを返されれば農地は益々荒廃し、食料自給率は下降していくばかり。JAとしても農政運動により国、県、市町に要請して大規模農家を守ってほしい。

令和3年産米に対しては、山形県は出荷販売のある方を対象に10aあたり千円の給付金を支給しました(山形県稲作経営緊急応援事業)。

山形市については令和3年産の主食用米の作付を行った方を対象に令和3年産主食用米の生産の目安の範囲内において、10aあたり千円を交付しました(山形市米価下落対策支援交付金)。さらに、山形市ではこれから同要件で10aあたり二千円の交付金を追加で設定し、3月には対象者へ振り込まれる予定となっております(山形市稲作経営継続支援交付金)。しかしながら、現在の需給動向を踏まえればこれらの支援で満足されるものではないと理解しています。主食用米の需給改善が図られなければ米価水準の引き上げは困難であり、

なお一層の努力をお願いしたい。

生産資材につきましては品目ごとに対象メーカーより見積りを取り入札を行い、安価に供給できるようにしております。また、値上げ時期について出来るだけ開始期間を遅らせるようメーカーと協議します。さらに配送システムの変更を行い、当用配送を毎日午前・午後2回行っているものを集約して回数を減らし、配送コストの削減をはかり経費の抑制に努め資材単価を出来るだけ安価にするようにしていきます。

●昨年の凍霜害の被害がひどかった組合員に対して農協独自の支援等はあるか。

昨年の第24回通常総代会にて決議いただきました「農業経営法人等支援積立金」の営農振興策に係る助成の対象に、自然災害・感染症等により甚大な災害を受けた場合の支援に関する項目を追加するため、積立目標額の増額をしております。甚大な災害を受けた対象者の方につきましては、昨年に申請をいただきました「令和3年度自然災害被害果実加工利用促進等対策事業(国支援事業)」及び、

生産の目安を基本とした需要に応じた生産を基本に、令和4年産米に向けた取り組みを引き続き推進していくことが重要であります。関係機関と連携し、生産農家の所得向上につながるよう国や行政に対してしっかりと要請しつつ対応してまいりますのでご理解よろしく申し上げます。

●所得増大、生産の拡大、活性化等具体的にどう進めていくか。難しいことであるが、少しでも組合員のためになるよう努力して組合員のための農協であってほしい。

第8次中期経営刷新計画の重点実施事項にも掲げておりますが、直売所の充実と機能強化を実施することで生産者・消費者に喜ばれる直売所を目指します。生産の拡大については農業振興策や園芸団地を核に生産の拡大、維持に努めてまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いします。また、現在国より求められている持続可能なJA経営を構築し、安定経営をもとに組合員支援を続けていけるように努めてまいります。

●非対面取引の拡大について、コロナ禍に対しての対応と思われるが、新型コロナウイルス終息後の対応を考えているのか。

コロナ禍の対応として、JAネットバンク・JAバンクアプリ・JAカードの普及拡大に引き続き取組む内容であります。新型コロナウイルス感染症の終息後においても対面取引を基本としつつ、事務効率化による相談機能の充実と窓口提案活動の強化に努めるとともに、組合員・利用者の利便性向上に向け、非対面取引の普及拡大に継続して取り組んでまいります。

繋がり大切に 女性部作品展



部長(右から2番目)と副部長3名

女性部では1月22日、本店で部員が手作りした作品展を開催しました。
支部活動で取り組んだ苔玉やバッグ、家の光を参考にした作品など211点の出品がありました。
今年作った作品集や、コロナ禍でも部員皆が楽しめるようにと開催された作品展についてJAやまがた女性部部長の鈴木静子さんにお話を伺いました。

バラエティに富んだ出品作品——作品展の感想を教えてください。

鈴木 開催前は新型コロナウイルス感染症の拡大により思うように活動が出来ず、出品数が少ないのではと不安でしたが、想像以上に沢山の作品が集まり驚きました。部員同士の繋がりを絶やすことなく

活動してくれたことがとても嬉しいです。
作品の大部分が、各支部の支部長や代表者が出席した交流会で制作した苔玉になると思いましたが、バッグや絵葉書、ランシードなどバラエティに富んだ作品が集まりました。
——作品集を制作したきっかけは。

鈴木 作品集を作るのは昨年に続き今年で2回目です。作品展に会場出来ない方もいたので、様々なアレンジを加えながら作り上げた素晴らしい作品、支部単位で取り組んだ活動の成果を形に残すことで多くの方々に知ってもらいたいです。



10月に女性部交流会で制作した「苔テラリウムと苔玉」は、今年度多くの支部、部員さんに伝達されました。



部員募集中! *****
女性部活動にご興味がある方は、お近くの各支店までお気軽にお問い合わせください。

令和3年度 JAやまがた女性部作品展「作品集」出来ました!



数量限定
作品集を
差し上げます。



お問い合わせ
本店 営農経済部 経済課
TEL.023-624-8567

〈設置場所〉
直売所3店舗、各支店に設置

令和3年度 JAやまがた女性部作品
工夫を凝らした力作55作品211点が出品されました。

飯塚支部



村木沢支部



東金井支部



大曽根支部



出羽支部



明治支部



南沼原支部



大郷支部



蔵王支部



宮川支部



本沢支部



南金井支部



中川支部



西郷支部



ひまわり支部



ゆめたね支部

3月1日(火)

令和4年度スタート辞令交付式

本店大会議室で令和4年度定期人事異動辞令交付式が開かれ、新型コロナウイルス感染症防止のため参加職員を縮小して行われました。

配属先や職務が変更になった職員は全体で213名の異動となりました。

岡崎輝明組合長は「第八次中期経営刷新計画の初年度の取り組み、早期警戒制度の対応で示した財務計画に沿った着実な実践によるJA経営基盤の強化を進める新たなスタートを切る。部門間連携を強化し、情報の共有と職員間の協調融和を図り、事業計画の達成のため邁進していく必要がある。自己研鑽に励み、組合員の皆様、地域の皆様から必要とされ信頼される職員を目指してほしい」と激励されました。



3月9日(水)

山形市へ農業副読本の贈呈

当JAの岡崎輝明組合長とJA山形市の大山敏弘組合長が山形市役所を訪れ、山形市の佐藤孝弘市長に食農教育を目的とした副読本を贈呈しました。山形市と当JA、JA山形市は農業振興を通じた連携協定を2019年8月に締結しており、締結内容の連携及び協力事項に基づき、食農教育の展開を図る一環として、教材をJAから市へ贈呈する運びとなりました。

教材は2008年より贈呈開始したJA山形中央会発行「いのちを育む山形県の農業」、JAバンク発行「農業とわたしたちの暮らし」、2016年より贈呈を開始したJA全農山形発行「やまがた米ものがたり 米づくりの1年」の3種。約一万部が県内の小学校・特別支援校に配布されます。

佐藤市長は「米づくりについて内容が濃く掲載されている。教育現場で活かせるよう努めたい」と話していました。



3月9日(水)

きずな・経済配送進発式



本店で営農経済部門の渉外担当であるきずな担当者と配送担当者の進発式を開き、担当者ら16人が参加しました。

岡崎輝明組合長は「組合員との信頼関係を深め、充実した情報提供と確実な購買品の配送を行い組合員から必要とされる職員を目指してほしい」と激励しました。

きずな担当の細谷智弘主事は「組合員の相談相手として信頼関係を築き上げ、事業目標達成に向けて関係部署と一致団結し取り組みます」と決意表明し、経済配送担当の後藤新悟主事は「確実な配送を行うとともに、組合員とのふれあいを大切に情報提供、要望の収集を行い、JAと組合員とのパイプ役として活動します」と誓いました。

3月3日(木)

福祉センター青田ひな祭り

福祉センター青田は、利用者を対象にひな祭りイベントとしてセンターの職員が色画用紙や段ボールなどで作ったお内裏様とお雛様の顔出しパネルを持ち、ひな人形と並んで写真撮影を行いました。

3時のデザートには菱餅をイメージした3色ムースが登場しました。菱餅の色の由来について赤(桃色)は桃の花、白は純白の雪、緑は健康や新緑を表し、それぞれに魔除けや長寿、厄除けなどの意味があるという説明を聞いた後、3色ムースを食べた利用者は「デザートも美味しくてお姫様になったみたい」と笑顔を見せました。



見た目もかわいい3色ムースは上からピンクがイチゴ味、白がヨーグルト味、緑が抹茶味。



JAやまがた

NEWS TOPICS

2月16日(水)

地産地消献立学校給食に小笹うるい

上山市の全小中学校で16日、「地産地消献立・小笹うるい給食」が行われ、児童は市の伝統野菜「小笹うるい」と野菜、鳥のささ身肉を和えた「小笹うるいの粒マスタード和え」を味わいました。

児童は「小笹うるいがとてもおいしいことを家族にも伝えたい」と笑顔で頬張っていました。

同日にかみのやまブランド推進協議会主催で生産者が小学校へ出向き、食育講話を実施する予定でしたが新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。食育講話の対象校だった宮川小学校3年生23人に、生産者の栗野信善さんより「小笹うるい」が贈られ、協議会が準備した資料を参考に「小笹うるい」の特徴や栽培方法などを学びました。



2月11日(金)

コロナ収束願い加勢鳥躍動



江戸時代初期から伝わる上山市の伝統民俗行事「加勢鳥」が11日、市内で行われました。

2021年は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりましたが、今年は会場を上山城とJRかみのやま温泉駅前に限定して演舞が披露された他、動画投稿サイト「ユーチューブ」でもライブ配信するなど感染対策を講じて実施しました。

上山城で開かれた安全祈願祭で横戸長兵衛市長が「コロナ収束を願い、大いに羽ばたいて街に元気を与えてほしい」と激励しました。

市内在住の10人がワラで編んだ「ケンダイ」と呼ばれる衣装を身にまとい、「カッカッカー」の掛け声に合わせて躍動しました。飛び跳ねて踊る加勢鳥に観客からひしゃくで祝い水が掛けられるなど会場は盛り上がりしました。

2月9日(水)

ラ・フランス剪定講習会

山形地区西洋梨部会は山形市明治地区の井上寿弘さんの園地で西洋梨「ラ・フランス」の剪定講習会を開き、部会員ら約15人が参加しました。

県村山総合支庁農業技術普及課の保科絢子普及指導員が講師を務め、胴枯れ病の枝は早めに剪定することや、樹勢に応じた剪定の目安を説明し、作業の実演をしました。

また、昨年の凍霜害の影響で果実の収穫量が減ったため、枝に栄養分が行き渡り全体的に例年より伸びていること、花芽が良好であることなどの現状も確認しました。

近藤國吉部会長は「品質、収量共に良い収穫期を迎えられるよう、しっかり学ぼう」と参加者に呼び掛けました。





やさい畑ファーマーズ倶楽部 編

浅草・フルーツパーラーゴトーの
フルーツをもっとおいしく楽しむ本

場

4月号のテーマ

春

⑤ 日本は春夏秋冬の季節がはっきりしていて直売所には季節ごとに旬の食べ物が並びます。旬の食べ物は美味しく栄養たっぷり。目で見ても、味わって季節を感じるのも楽しいですね。



(山形市Kさん)
絵葉書ありがとうございます。
ございます。

こどもの日



あしがき

春は出会いと別れの季節。卒業式や入学式、職場の人事異動などで環境ががらりと変わり、を感じてしまいます。

春ははじまりの季節。新年度を迎え、新たなことにチャレンジしてみようと思います。

実り多き季節になりますように。



鉄分 レバー・ほうれん草・あさり・大根の葉など

自律神経を整えて、春の不調を乗り越えましょう!

スイーツ教室



健康教室



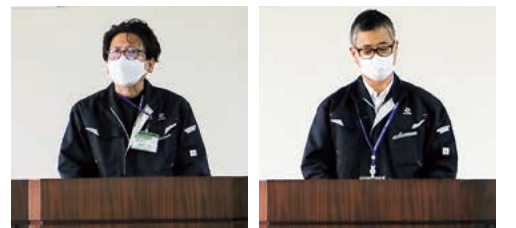
雛めぐりドライブ



TEL.023-616-8002

介護サービス事業／通所介護・訪問介護・福祉相談窓口

報告会に出席した丸子嘉実常務は「具体的な目標を立て、達成に向けて行動してくれたと感じた。凍霜害の影響もあり厳しい農業情勢のなか、きめ細やかに農家組合員の対応をしていただき感謝したい」と総評しました。



今月の表紙



高品質な啓翁桜を生産するため、枝の選別やハウスの温度管理、枝の束ね方にこだわっているそうです。

2月24日(木)

銀賞を受賞し、金賞の「啓翁桜」の生産にも携わった山口大さんは「ボリューム感や全体のバランスなど厳選に厳選を重ねて金賞を目指した。努力を認められたようで、心から嬉しい」と笑顔で話した。

山口 大さん、山口 秀夫さん